

# 検見川浜ボードセーリングサマーカップ 大会レポート



2023年7月1日（土）～2日（日）、千葉県千葉市検見川浜にて掲題の大会を開催いたしました。この大会は、昨年より普及イベントとしてウインドサーフィン愛好家のレースへの参加喚起、交流を目的として検見川浜にて実施しています。アマチュア選手を対象として、今大会では以下のクラスを設けました。

- オープン（メンズ） 17名
- オープン（ウィメンズ） 3名
- フォイル 8名
- ビギナー 5名
- ジュニア（中学生） 3名
- ジュニア（小学生） 0名
- ノンプレーニング 0名

総勢 34 名（各クラスの参加者数は上記のとおり）。地元の千葉を中心に、神奈川、兵庫からも参加いただき 10 歳から 63 歳まで幅広い年齢のウインドサーファーが集まり、初日は曇天、時々雨の南西強風、2 日目は晴天ののちサーマルという検見川浜らしい天候のもと全クラスレース成立、2 日間でトータル 20 レースを行いました。

## レース報告

### 1 日目：7 月 1 日（土）

かなりの強風が予想されていましたが、予報ほど風は強くなく、うねりも思ったほどは入っていなかったため、選手、運営の安全を確保しながらレース実施を決定。南西 10m 前後。クロスオンショア。沖にスタートラインを設置。スタボースタート、2 ジャイブのダウンウインドでビーチ近くにゴールを設け、スタートからゴールまでビーチから見やすいレイアウトとしました。

10:30am にオープンクラスの第 1 レースを開始。選手によってはハードなコンディションだったため、各選手が自らの技量に合わせ、棄権か出場か適切に判断したこともあり、トラブルなく、予選ヒート、決勝、ルーザーズの全 4 ヒートを進行することができました。風もうねりも少し落ち着いてきていたこともあり、続けて、オープンクラスを 2 レース行いました。このとき、リグトラブ



ルによるレスキューがありました。選手の素早い判断（トラブル発生後すぐに海上にてレスキュー要請アピール）と運営の陸スタッフと海上スタッフのスムーズな連携により迅速に対応、選手、道具ともに怪我や損傷なくビーチに戻ることができました。

オープンクラス進行中から風が徐々に弱まり、フォイルクラスもできそうなコンディションとなり、また、おおよその参加選手の技量を実行委員長が把握していたこともあり、フォイルクラスを続けて行うことを判断。オープンクラスと同じコースレイアウトを使用。



参加人数の関係から、フォイルクラスは1ヒートのみ、一発決勝のため1レース完了までの所要時間が数分。また、選手の協力もありテンポよくその後のレースを進めることができ、フォイルクラスは6レース成立することができました。各選手のレベルが格段にあがり、とても見応えのあるレースを繰り広げていたのが印象的でした。

ジュニア、ビギナーはコンディション不良のため初日は実施を見合わせました。

- オープン（メンズウィメンズ混走）クラス 3レース
- フォイルクラス 6レース

## 2日目：7月2日（日）



前日とは違って変わって、晴天。気温があがり午後から南西サーマルが期待できる、検見川浜のこの時期らしい天候でした。朝、北よりだった風が、徐々にふれて南系の風になったところでビギナークラスを行いました。開始前、実行委員長からビギナークラス参加選手にコースや注意事項、スタートのタイミングについてしっかり説明

し、レースの準備をしてもらいました。コースレイアウトはセミ海上スタート、2 ジャイブでやや上りと下りのレグを入れたトリッキーなコースを設定。短めのコースでビーチからの声援が届くほど近くに設定しました。はじめに3レース、少し休憩を挟んで計6レースを実施。毎レース、4名の選手で毎レース、デッドヒートを繰り広げ大いに盛り上がりました。

ジュニア（中学生）クラスは、オープンクラスと同じ大きいコースで行える技量の持ち主ばかりの選手でしたが、多くのレースをしたい、との要望があったのでビギナークラスとの混走も可能とし、ただし、プラクティスレースの扱いとし、自由参加としました。ビギナークラス完了後、他のクラスを実施するには風がまだ十分ではなかったため、全体ウェイティング、お昼休憩としまし



た。ただし、運営スタッフは風の予兆があったらすぐに準備できるようにスタンバイ状態としました。お昼の食事が終わったところで、沖合の海面に風が入り始めたので、船を出し、急いでコース設定。南南西の風8-9m。前日と同じレイアウト（沖のポートスタート。2 ジャイブでビーチ近くのゴール）で、2日目はスタートから第一マークまで少し長めに設定しました。

まず、ジュニア（中学生）クラスを2本実施。3選手とも、検見川の海面とそのコンディションは初めてだったかと思われませんが、沖のスタートラインまでちゃんと上り、オープンクラスと同じレイアウトで、しっかりレースをこなしており、各選手、今後が楽しみな走りをしていました。

続いて、オープンクラスを1レース。選手に後から聞くと、オープンクラス進行中、風がどんどん強くなり道具の選択が難しくなったとのこと。決勝ヒートにあがる選手、上位に食い込んできた選手はいち早くレースエリアに現れ、スタートラインや海面のチェックを入念に行っていたのは、さすがでした。レース常連の選手に、最近はレースにあまり出ていない検見川浜ローカル選手の攻防はとても見応えありました。



さらに、フォイルクラスを2レース。フォイルクラスを行うタイミングでは、風が少し落ち着いた感があり、道具の選択に結果の明暗が分かれた感がありました。また、風向が少し西よりになったことと第2マークが満潮になり、本来の位置から10mほどずれたこと



で、第1マークから第2マークまでが深い下りの設定に意図せずなったために、そのレグの対応も結果に大きく影響していたようです。その中で、特に目を引いたのは中学生のふたりでした。艇速は大人の選手が優勢でしたが、問題の第1から第2マークへのレグを上手に処理し、他の選手を引き離し、2レースともワンツーフィニッシュを飾っていました。

- ビギナークラス 6レース
- ジュニア（中学生）クラス 2レース
- オープン（メンズウィメンズ混走）クラス 1レース
- フォイルクラス 2レース

## 結果／表彰

### オープン（メンズ）

- 優勝 3 大数加 光司
- 2位 8911 原沢 毅彦
- 3位 737 岡崎 賢吾



### オープン（ウィメンズ）

- 優勝 34 田沢 妙代子
- 2位 770 岩井 幸子
- 3位 257 池田 真弓



### フォイル（メンズ）

- 優勝 600 田中 響
- 2位 17 高濱 明
- 3位 4687 辻 慧



### フォイル（ウィメンズ）

- 優勝 877 高濱 奈菜



## ジュニア（中学生）

- 優勝 600 田中 響  
2位 101 掛川 竜誠  
3位 729 戸田 絢菜



## ビギナー（ウィメンズ）

- 優勝 11 藤村 日向子  
2位 822 JEAN-AUGUST CHEN  
3位 25 高濱 莉菜



## ビギナー（メンズ）

- 優勝 70 古谷 昌義

大会結果全体は「[検見川サマーカップ Results.pdf](#)」を参照



@harunaocean さん作トロフィー

YouTube 動画：[1日目](#)、[2日目](#)

## 参加者の声

「2日でこんなにレースしたの久びさかも。心地いい疲れです。」

「スムーズな運営で2日間楽しめました感謝です」

「ホントにお疲れ様でした。ありがとうございました！！」

## 大会を終えて

まず、検見川浜、地元のみなさま、地元ショップの方々にお礼を言わせていただきたいと思います。普段遊んでいる浜や海を大会開催のためにあけていただき、レース進行にご理解を示していただいたこと、大変感謝しています。

各メーカー様、協賛いただいたみなさまにも、多大なるご協力をいただいたこと、大変ありがたく思っています。メーカーテントで大会会場を華やかにしていただき、また、協賛品も副賞として使わせていただき、各選手の今後のモチベーションに繋がったと思っています。

そして、最後に参加いただいた選手、および運営をお手伝いしてくださった検見川浜のみなさまにも熱く熱く、お礼を申し上げたいと思います。みなさまがいなければ、大会は成立しません。本当にありがとうございました。

手作り感いっぱい大会であり、改善できる、すべき部分は多くありますが、本大会の経験を活かし、また、反省すべきところはしっかり取り組み、よりよい大会を作っていけるよう心がけていきたいと考えています。

より多くの方がレースに興味を持ち、レースを通じて課題やモチベーションを高く保てるなにかを見つけ、ショップや地域を越えた交流が実現できるようなイベント作りを目指したいと思います。さらに参加した全員、関わった全員が楽しかった！と言える大会を実現できるようにしたいと考えています。

実行委員長 鈴木 智彦

検見川ビーチ連盟 岩下 哲也

(レポート：依田 桂子)